

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』いよいよ7月8日開幕 新情報！コラボカクテル、ショップ出展者、特装図録をご紹介

会期：2023年7月8日（土）～9月18日（月・祝）
会場：大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4丁目3-1）

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区/館長：菅谷 富夫）にて、7月8日（土）『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』が開幕します。「衣・食・住」をテーマに、暮らしで用いられてきた美しい民藝の品々約150件を展示。いまに続く民藝の産地で働く作り手と受け継がれる手仕事も紹介します。

今回は、展覧会の新情報として、以下の3つの話題をお知らせいたします。

- ①リーガロイヤルホテル「リーチバー」でコラボカクテル登場！特製の民藝の器で楽しむ“食べるカクテル”
- ②民藝ファンなら見逃せない！日本各地の人気店や工房が展覧会場に集結！
- ③八尾和紙の「桂樹舎」手漉きの和紙カバー付き！数量限定の特装版図録も登場

- ① 民藝ゆかりの「リーチバー」で、本展コラボのオリジナルカクテル登場！
特製の器で、バーナード・リーチと濱田庄司の絆が100年を超えて1杯に結実



リーガロイヤルホテル「リーチバー」

本展会場の大阪中之島美術館からほど近いリーガロイヤルホテル。大阪の迎賓館とも称されるクラシカルなたたずまいの中でも、ひときわ重厚な雰囲気を醸し出す「リーチバー」は、日本の民藝運動に深く関わった英国人陶芸家、バーナード・リーチの着想に基づき、店内には民藝の名品が飾られています。

展覧会とコラボレーションしたオリジナルカクテル「酒樂陶醉（しゅらくとうすい）」が開幕に合わせて登場します。民藝の和のテイストを意識しながら、ほんのりと甘いバニラと爽やかなハーブがほのかに香る、夏にぴったりな“食べるカクテル”。クリームリキュールの中でバニラアイスクリームがじっくりと溶けてゆき、時間とともに変化する味わいをお楽しみいただけます。

このカクテルを包み込む器を手がけたのは、栃木・益子の濱田窯。陶芸家・濱田友緒が本展オリジナルメニューのために特別にデザインした逸品です。

本展コラボのオリジナルカクテル「酒樂陶醉」



《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂
MOBILE : 090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）
TEL : 050-1807-2919 FAX : 06-6231-4440 E-mail : mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」公式サイト
URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>



◀アクセス
QRコード



濱田友緒デザインの本展特製「手付き杯」

濱田の祖父・濱田庄司は、約100年前の民藝運動創設者の一人であり、リーチとともに日英両国を互いに行き来しながら、陶芸の道を長らく追究しました。現在も孫たちがリーチポタリー（英・セントアイヴズ）と濱田窯を守り、志を受け継ぎながら交流を続けています。

リーチは日本各地で作陶し、英國式のハンドルの作り方を教えて回りました。今回の「手付き杯」に付けられたハンドルは、同じく日英を拠点に世界の手仕事やアートをつなげてきたショップ「MOGI Folk Art」（東京・高円寺）からのヒントも得て、濱田友緒によるリーチへのオマージュとなっています。

リーチと濱田、生涯を通じた深い絆は100年の時を超えて、民藝の世界を味わえる1杯のカクテルとなって大阪の地でまたひとつの実を結びました。

提供期間：7月8日(土)～9月18日(月・祝) 毎週火曜は定休

料 金：2,530円（税金・サービス料込）

営業時間：【月～金】16:00～24:00

【土日祝】14:00～24:00

提供場所：大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル1階「リーチバー」

期間中、本展チケット（半券含む）提示でリーガロイヤルホテル内飲食店10店の代金を10%引き

対象は「リーチバー」はじめ「レストラン シャンボール」「THE RAY」「オールディダイニング リモネ」

「中国料理 皇家龍鳳」「鉄板焼・焼肉 なにわ」「日本料理 なかのしま」「カウンター割烹 みおつくし」

「メインラウンジ」「セラーバー」 ※一部対象外メニューあり ※他の優待・割引との併用はいたしかねます

② 民藝ファンなら見逃せない！日本各地の人気店や工房が展覧会場に集結！

民藝ファンにとっては憧れの老舗の名店・人気の工房が会場に集結！展覧会を楽しんだ後は各地の商品が揃ったショップで、お買い物をゆっくりお楽しみください。

●出展予定店舗・工房（五十音順）●

※本リリース配信時点。ラインナップは追加・変更になる場合があります

沖縄首里織（沖縄）／小鹿田焼 黒木昌伸窯（大分）／小鹿田焼 坂本工窯（大分）
ギャラリー・セントアイヴス（東京）／銀座たくみ（東京）
倉敷ガラス（岡山）／くらしのギャラリー（岡山）／桂樹舎（富山）
巧藝舎（神奈川）／工芸の店kabura（丹波布）（兵庫）／知花花織（沖縄）
東北スタンダードマーケット（宮城）／融民藝店（岡山）
鳥越竹細工 柴田恵（岩手）／日本民藝館ミュージアムショップ（東京）
パシフィカコレクティブス（東京）／琉球帆布（沖縄）／琉球紅型「守紅」（沖縄）
民芸店ましこ（栃木）／MOGI Folk Art（東京）／読谷村北窯 松田米司工房（沖縄）
…and more!

《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

MOBILE : 090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

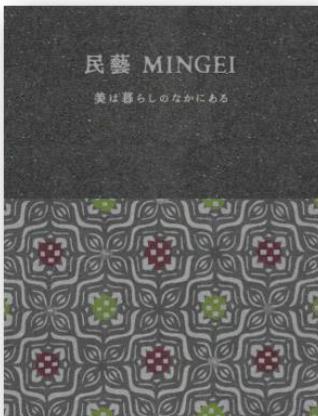
TEL : 050-1807-2919 FAX : 06-6231-4440 E-mail : mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」公式サイト
URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>

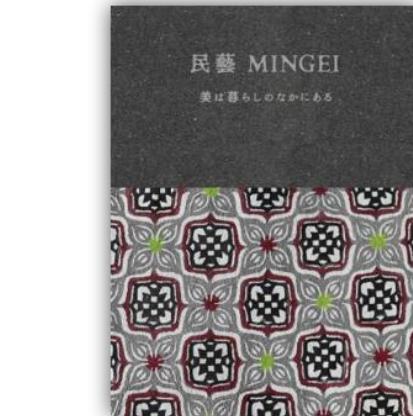


◀アクセス
QRコード

③ 八尾和紙の「桂樹舎」手漉きの和紙カバー付き！数量限定の特装版図録も登場



図録（通常版）2,970円
トートセット 3,300円



図録（特装版・桂樹舎手漉き和紙カバー付）4,840円
トートセット 5,200円
(いずれも税込)

民藝とは何か、そのひろがりと今、そしてこれからを展望する本展の公式図録(232ページ、カラー)です。お得なトートバッグと図録のセットも会場で販売します。特装版図録は、すべての工程を手作業で行う、八尾和紙・桂樹舎が制作した、手漉きの型染和紙カバー付き。桂樹舎オリジナル図案のひとつ「アイヌ市松柄」に、図録別注カラーで色を差しました。数量限定となっているのでお早めに！

※通常版図録単品のみ朝日新聞SHOP (<https://shop.asahi.com/category/ASAS10/>) でご購入いただけます（7月8日から販売開始予定）。トートセットや特装版は会場のみでの販売となるのでご注意ください。

開催概要

展覧会名：「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」

会 期：2023年7月8日(土)–9月18日(月・祝)

会 場：大阪中之島美術館 4階展示室

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1

開場時間：10:00 – 17:00 (入場は16:30まで)

休 館 日：月曜日 (ただし7/17(月・祝)および9/18(月・祝)は開館)

観 覧 料：一般1,700円 (団体1,500円) 高大生1,300円 (団体1,000円) ※中学生以下は無料

※（）内は20名以上の団体料金

公式サイト：<https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>

問い合わせ：大阪市総合コールセンター TEL:06-4301-7285 (受付時間 8:00~21:00 年中無休)

主 催：大阪中之島美術館、朝日新聞社、東映

協 賛：凸版印刷

特別協力：日本民藝館

協 力：静岡市立芹沢鉢介美術館、カトーレック

《報道関係者お問い合わせ先》

『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』広報事務局 (TMオフィス内) 担当：馬場・永井・西坂

MOBILE : 090-6065-0063 (馬場) 090-5667-3041 (永井)

TEL : 050-1807-2919 FAX : 06-6231-4440 E-mail : mingei@tm-office.co.jp

「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」公式サイト
URL <https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>



◀アクセス
QRコード